

経営比較分析表（平成30年度決算）

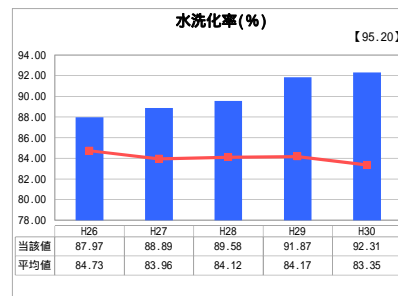
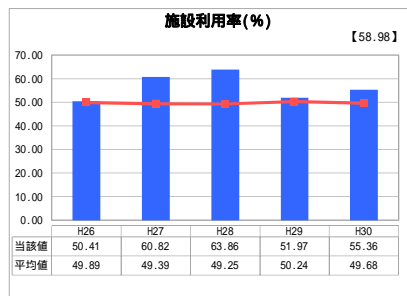
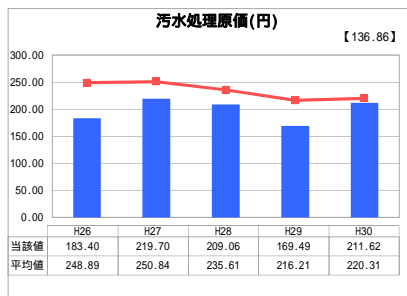
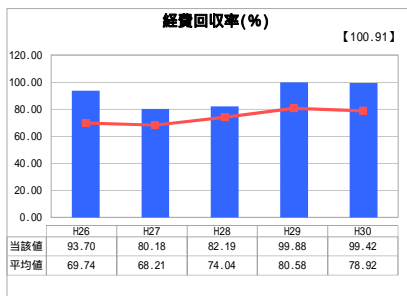
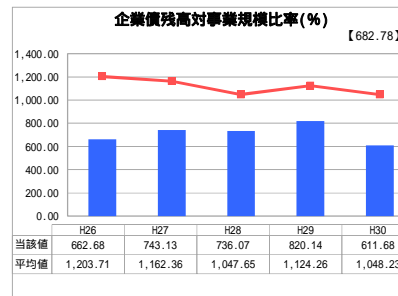
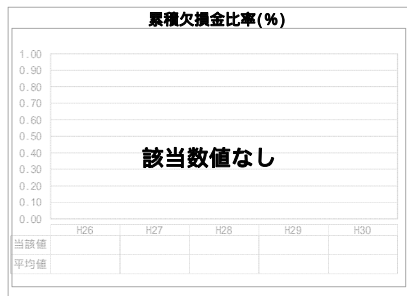
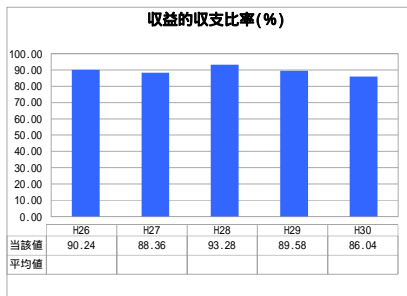
佐賀県 吉野ヶ里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	91.18	84.02	3,564

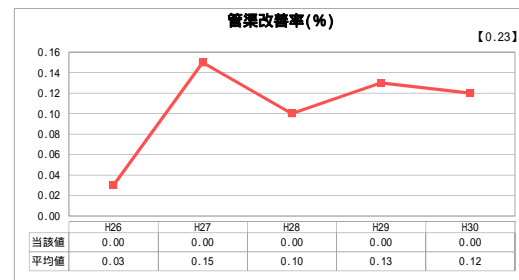
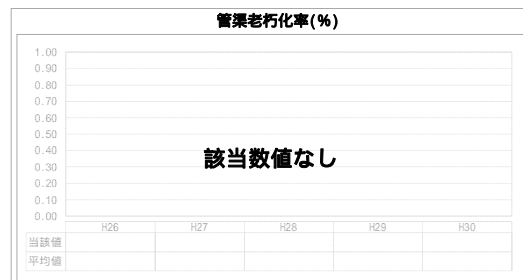
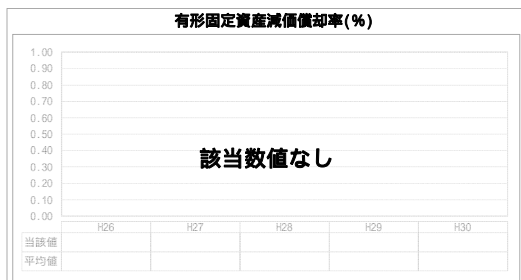
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,201	43.99	368.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,667	5.93	2,473.36

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率は80%台の数値で推移している。今後、老朽化等による施設等の改修も見込まれるため健全経営に努める必要がある。

・料金回収率は類似団体平均値を上回っているものの、90%程度で推移しており、汚水処理収益以外の収入（繰入金）で賄われている状況である。必要に応じて料金の見直しを検討する必要がある。

・汚水処理原価が昨年度より増えた要因としては下水道統廃合に伴い、旧農業集落排水処理施設からの汚水量が増加したためであると考えられる。

2. 老朽化の状況について

・公共下水道事業を供用開始して21年ほどが経過している。処理場の機器類についても老朽化による処理場についてはこれまでも機器更新等を行ってきたが、今後もストックマネジメント計画に基づく、改修や機器更新が必要となる。

全体総括

・ストックマネジメント計画の見直しを定期的に行い、計画的な機械等の改修を行う必要がある。